

高梁川流域の 指定文化財(史跡)



- * かげちょうよご だに ・**矢掛町横谷**
- 時代
 - ・鎌倉時代~安土桃山時代
- していねんがっぴ 指定年月日
 - ・平成8 (1996)年 4月1日
- が有
 - · 国



新高総早倉 見梁社島敷 市市市町市 井浅里笠 原口庄岡 市市町市



☆この史跡について

ではうごう ほんまる あと はし ち に まる さん まる い ど おお て もん よん まる ば ば 標高239mの本丸跡が南端にあり、北に向かって二の丸、三の丸、井戸、大手門、四の丸、馬場、 で まる ろく まる たゆうまる てらまる くだ ひらばやしぐち いた 五の丸、六の丸、大夫丸、寺丸と下って平林口に至ります。

まくじょうねんだい しょういえなが げんきゅう げんべい かっせん ぐんこう ましょう 楽 坂中代は庄家長が元久2(1205)年、源平合戦の軍功により地頭として赴任し、その後間も さんじょう どるい きず なく、山上に土塁を築いたのが始まりと考えられています。

しょうし まつやまじょう たかはし ほんじょう うつ もうりもとなり よんなん もうりもときよ りょうしゅ さるかけじょう にゅうじょう 庄氏が松山城(高梁)に本城を移した後、毛利元就の四男・毛利元清が領主として猿掛城に入城します。

てんしょう 大正10(1582)年の備中高松城水攻の際には、この猿掛城が毛利輝元の本陣として名を歴史 では、この猿山城が毛利輝元の本陣として名を歴史 はら でんしょう とう りょと きょうちゃきじょう ひがしみ なり うつ に残しました。翌天正11年には毛利元清は茶臼山城(東三成)に移ったため、約400年間続いたこ やま じゅ しっしょしょうはいじょう の山城は実質上廃城となりました。